

金子壮一（2005・経営）

D：福島県会津東山温泉コース

現地を訪問して思うこと

～会津地方の風評被害について～

ツアーのはじまり、郡山駅を訪れて一番最初の印象は「震災以前と何ら変わらない綺麗な街」でした。しかし、自分の中でいつもとは違う警戒感があったのも事実です。いつの間にか報道による「放射能汚染」の意識が、実態の見えないものであるにも関わらず。自分の固定観念として占領していた事に、改めて校友の先輩方、ご紹介頂いた現地で暮らす方々のお話を伺ったことで気付かされました。

会津地方の主要産業である農産物や観光客の風評被害を、今回の応援ツアーを通じて体感して思うことは、事実以上に人々の過剰反応が事態を余計に深刻化しているという点でした。現地の野菜生産者が、「本当は放射能より、農薬の方が危険なのでは？」と語った事が個人的にはとても印象的だが、それとは裏腹に、福島校友会の会長・副会長のお話にもあった「子供の流出」理由を考えると、やはり地元住民の抱える内面的な不安は計り知れないものである事が痛いぐらい伝わってきました。

一方で、非常に前向きな動きを数多く実感することも出来ました。宿泊先としてお世話になった「くつろぎ宿」深田社長は、「来年は、NHK 大河ドラマ『八重の桜』の効果を考えると、例年以上の観光客が会津を訪れる」と熱意を語ってくれました。

様々な問題に対して、必死に乗り越えようとする姿に多く出会いそれが更なる会津地方の魅力となって、私たちに勇気を与えてくれた様に感じます。本当に、有意義な機会を設けて頂きまして、ありがとうございました。